

< 検査内容変更のお知らせ >

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。

このたび、下記項目におきまして、検査内容の一部を変更させていただきますのでご案内申し上げます。

誠に勝手ではございますが、弊社事情ご賢察のうえ、ご了承の程お願い申し上げます。

敬具

記

《実施日》

平成31年1月7日（月）受付分より

《対象項目》 [2373] 抗ミュラー管ホルモン (AMH)

変更箇所	新	現	検査案内 記載頁
参考基準値	裏面参照	設定なし	74
検査方法	CLEIA [バックマンコールター] (体外診断用医薬品として承認された新試薬)	CLEIA [バックマンコールター] (研究用試薬)	

※ その他の検査要項に変更はございません。

●AMH参考基準値

AMH測定値の年齢別分布 (中央値)

※ RI : Reference Interval

年齢 (歳)	N (例)	中央値 (ng/mL)	95% RI (基準範囲) (ng/mL)
≤27	558	4.69	0.76 ~ 14.18
28	387	4.27	0.84 ~ 12.44
29	555	4.14	0.86 ~ 11.97
30	663	4.02	0.79 ~ 12.74
31	865	3.85	0.44 ~ 13.08
32	872	3.54	0.62 ~ 13.87
33	959	3.32	0.40 ~ 12.76
34	1,064	3.14	0.38 ~ 11.16
35	1,191	2.62	0.37 ~ 10.18
36	1,122	2.50	0.33 ~ 9.93
37	1,154	2.27	0.24 ~ 8.50
38	1,230	1.90	0.11 ~ 7.81
39	1,176	1.80	0.13 ~ 7.45
40	1,057	1.47	0.08 ~ 6.13
41	888	1.30	0.06 ~ 5.52
42	715	1.00	0.05 ~ 5.81
43	509	0.72	0.03 ~ 4.49
44	309	0.66	0.03 ~ 3.98
45	144	0.41	0.03 ~ 3.43
46≤	127	0.30	0.02 ~ 1.67
全群	15,545	2.36	0.12 ~ 10.67

※ JISART(日本生殖補助医療標準化機関)各施設に通院する不妊症患者で当該試薬を用いて測定した16,526例のうち、多嚢胞性卵巣(PCO)(939例)および早期卵巣不全(POI)(42例)と診断された症例を除外した後の、女性15,545例のAMH測定値の年齢別分布(中央値)をノンパラメトリック法により求めました。
(JISART多施設共同研究での国内検討データ)(試薬添付文書より)

●測定に際しての留意点

日本産科婦人科学会 平成27~28年度生殖・内分泌委員会 生殖医療リスクマネージメント小委員会の報告では、AMH測定に際して留意すべき事項として次の4項目を挙げています。

- 1、AMHは卵子の質とは関連しない。
- 2、AMHの測定値は個人差が大きく、若年女性でも低い場合や高齢女性でも高い場合があり、測定値からいわゆる「卵巣年齢」の推定はできない。
- 3、測定値と妊娠する可能性とは直接的な関連はなく、測定値から「妊娠できる可能性」を判定するのは不適切と考えられる。
- 4、測定値が低い場合でも「閉経が早い」という断定はできない。

●参考文献

平成27~28年度生殖・内分泌委員会 生殖医療リスクマネージメント小委員会報告：抗ミュラー管ホルモン(AMH)の測定に関する留意事項：日産婦誌69：1721, 2017.